

APCO FORCE

個性的で優秀な製品を作り続けているアブコ社は、イスラエルに広大な工場を構え60ヶ国に3万機以上を販売している。同社が自信を持って贈る新世代リフレックスウイング、バラモーター専用ハイエンド機「フォース」にSasukeが試乗した。

「面白いリフレックス機があるから乗つてみないか?」とラ・ムエッティの荒井さんから連絡があった。ものすごく速いのに、扱いやすく、絶対潰れないと言う。小じんまりしめた今どきのバラモーター専用機なら速いのは普通だが、無風ライズアップもランディングも初心者でも楽に扱えるとか。何よりも「絶対潰れない」というのが、どうも気になる。半信半疑でこの機体入手し、一年を通じて穏やかな海風が吹く広大なフジフライトクラブエリア(静岡県)で、1カ月にわたってじっくり乗り込んでみた。

面形は翼端前縁が後退し、シャープなトレーリングエッジを持つTNT(層流)翼。投影アスペクト比は約4・5と少しストリーム。エアインテークは大きめで、セールクロスは上下面ともにリップ積を大幅にシェイプアップしている。ライザーは一見、オーソドックスなA+A+B+C+D(Aは翼端用)の5本。しかし、よく見るとAライザーとC・Dライザーがカラビナ上でバイパスして繋がっている。これがフォースのダブルシリコンコート軽量素材。



**幅広いスピードレンジと
軽快なハンドリング性を持つつ、
絶対潰れないモーター専用機が登場!**

機体構造(デザイン/マテリアル/ライザー)

フォースはEN-Cの機体だ。翼平

滑らかな肌触りだが、今流行りの薄素材に比べれば、しっかりと質感がある。全ての縫製は太めの糸を使用し、丁寧な仕上がりだ。多くのスクール・インストラクターが口を揃えて「アブコグラライダーは長持ちするよ」と言うのも納得。しかもこのフォースは従来製品に比べて重量と収納容

ス最大の特徴、SRSS(ストール・リカバリ・システム)だ。通常時はAライザーは中立の状態。不意のブローや乱気流により、Aライザーからのテンションが急激に高まる。C・Dライザーが自動的に抑えられ、翼のカブリを防ぐことができる。

さらにBライザー横にブレーキトグルよりも小さなトグルが設置されている。これはチップステアリングトグルと呼ばれ、これを操作することにより、沈下の少ない効率的なターンが可能になるという。

